

令和5年度 資金運用実績について

国立大学法人徳島大学

【運用方針】

運営費交付金等の削減により将来的な収入財源の縮小が予想される中、国立大学法人法の改正（平成28年度法律第38号）を受け従来からの元本保証のある金融商品から、リスクは伴うが、より収益性の高い金融商品への運用が可能となりました。本学では、教育研究等の中長期的な財政基盤の強化を図るため、令和2年度から当面支払の予定のない寄附金等の余裕金を原資として、安全性及び流動性に十分配慮したうえで、より収益性の高い金融商品へ運用を拡大し、安定した利息収益の確保を目指しています。

1 資金運用管理委員会の開催状況

- ① 第1回（令和5年6月7日開催） ② 第2回（令和5年8月28日開催） ③ 第3回（令和5年9月14日開催）
④ 第4回（令和5年12月12日開催） ⑤ 第5回（令和6年2月29日開催）

2 資金運用実績

区 分	商品種別	運用収益※1	前年度 運用収益	対前年度 増減額※2
短期運用	大口定期預金	8,729千円	7,901千円	827千円
	譲渡性預金			
	金銭信託			
	外貨定期預金			
中・長期運用 （1年超の運用）	金銭信託	46,926千円	26,884千円	20,042千円
	公共債			
	電力債			
	事業債			
	投資信託			
総運用収益額		55,654千円	34,785千円	20,869千円

※1 運用収益 令和5年度中に利払があったもののみを計上しています。

※2 対前年度増減額 単位未満で四捨五入を行っているため、差額が一致しない場合があります。